



45年間、このキャリアを選択したことを後悔した日はありません。

**Ray Ferrara, CFP® (アメリカ)**

元 CFP ボード チェア

ProVise Management Group, LLC (FP 事務所) チェア、CEO、CCO

---

**Q1.FP 実務を行う中で嬉しかったことは何ですか？**

顧客に長い間に亘って、ありがとう、と感謝されることです。

CFP®実務家として 45 年間、一日たりともこのキャリアを選択したことを後悔した日はありません。

**Q2.自国において、CFP®資格はどのように認知されていますか？**

新聞、雑誌、マスコミも、この資格がゴールドスタンダードであることを知っています。CFP ボードが 7 年間に亘って取り組んできた、認知向上キャンペーンが功を奏し、一般の消費者にも CFP®資格の価値に気付いてもらうことができました。企業においては、私達と同じように真のファイナンシャル・プランニングを行う会社は、CFP®資格の強みをよく分かっています。単なる「商品」を売るだけの企業は、真のファイナンシャル・プランニングを行っていないので、資格の強みに気づけません。

**Q3.CFP®認定者に求められる役割は何だと思えますか？**

大切なのは、「単に商品売る」人と、真のプロフェッショナルを区別することです。つまり、「常に」顧客の利益を優先させた結果を出す、ということです。

CFP®認定者とは、専門家として「単に商品売る」人ではない、真のプロフェッショナルである素晴らしい証なのです。

**Q4.日本の CFP®認定者へのメッセージ**

あなたは、これまで日本の消費者のために、素晴らしい仕事を行っています。CFP®資格の強みを一層活かし、これからもその努力を継続してください！応援しています。



自分自身が真にベストでいること、  
その答えが、CFP®資格でした。

**Neil Kendall, CFP®** (オーストラリア)

FPA オーストラリアチェア、FPSB カウンシルチェア

Tupicoffs –The Independent Financial Planners (FP 事務所) 代表取締役

**Q1.あなたの国の最近の FP 実務のトレンドについて教えてください。**

オーストラリアでは、ファイナンシャル・アドバイスに対して、コミッション制ではなくフィーを支払う方向へと動いており、これが FP に対し、より高い資格要件を課す動きを強めてきました。2017 年 2 月、ついにすべての FP に、学士以上の資格要件や継続教育、試験、倫理等を課す改正法案が議会を通過しました。FP が、正式に専門職として法律で認められたのです。中でも、CFP®認定者は、専門職の中のリーダーとして、FP の中でも手本を示していく役割を担っていくと考えています。

**Q2.なぜ、ご自身は CFP®実務家としてのキャリアを選択したのですか？**

私は、金融機関に長く勤務していたことがあるのですが、そこで許されている範囲よりも、もっと顧客の近くに寄り添ってアドバイスをしたいと思っていました。常に「意味のあるポジティブな変化を起こすこと」に力を注いできた私にとって、CFP®実務家になるということは、数ある選択肢のうちの単なる一つでは、決してありませんでした。CFP®資格がファイナンシャル・プランニングにおける最も高いスタンダードであることに疑いの余地はなく、自分自身が真にベストでいることを重視しているからこそ、この資格を選んだのです。

**Q3.自国において、CFP®資格はどのように認知されていますか？**

オーストラリアでは、一般的に、CFP®認定者ではない FP は指名されません。CFP®認定者しか雇用しない、としている企業も多く、良いキャリアを得るために、CFP®資格取得を目指す FP の数は増え続けています。また、CFP®資格は信頼できるブランドであるというキャンペーン広告が成果を上げ、一般の消費者にも広く知られるようになりました。

**Q4.CFP®認定者として実務を行ううえで重要なことは何だと思えますか？**

この仕事で最も重要なことは、「人々を助けたい」という本物の熱意です。  
私の仕事に対して感謝の言葉が書かれた、お客様からの手紙や写真は、常に私の大きな喜びとなっています。フィンテックは、FP の事務効率の向上には役立つと思いますが、信頼と共感が必要とされるこの仕事の本質を、コンピューターが取って替わることができるとは思いません。

**Q5.日本の CFP®認定者へメッセージをお願いします。**

最も高いグローバルスタンダードである、CFP®資格取得の達成にお祝いを申し上げます。ファイナンシャル・プランニングは、真にキャリアとして選択する価値のあるものです。お客様の未来に変化をもたらす仕事に、どうぞ誇りを持って取り組んでください。

## ●CFP®資格取得を推進している企業の声



### 継続教育こそが、顧客の安心と企業の信頼を導く

**Steve Helmich** (オーストラリア)

元 FPSB 理事会チェア、  
元 AMP 勤務、現 Affinia チェア

#### Q1.企業において、どのように CFP®資格推進策に取り組まれてきましたか？

私は長年、企業における CFP®資格の取得推進に携わっていますが、私の主眼は、常に、可能な限り高い教育を受けた、確固たる倫理観を持つ FP が、一般の消費者に最高のサービスを提供することにあります。FP 自身にこういったサービスの提供を推奨すると同時に、経営者にも従業員である FP に対し、CFP®資格の取得支援を行うよう、強く推奨したのです。その結果、前職の AMP は、現在オーストラリアで最も CFP®認定者の数が多い団体となりました。

現在の職場である Affinia は、以前は生命保険の販売にフォーカスしていましたが、近年、アドバイスをベースとした広い視点からの提案業務へとシフトしてきており、CFP®資格取得に向けた旅路のスタートを切った所です。

#### Q2.自国において、CFP®資格はどのように認知されていますか？

オーストラリアにおいて、今や、多くの顧客が、CFP®認定者が資格の維持のために継続的な教育を受けていることを知っており、大きな安心感を得ています。常に変化する市場において、ファイナンシャル・プランナーの実務能力が最新に保っているかを確認するために、継続教育を受けることは必須と言えます。これを知る企業では、CFP®認定者しか雇用しないという所も多くあります。政府が FP に教育要件を課す法案も成立したので、今後、継続教育を重んじる CFP®資格の重要性はますます高まっていくのではないのでしょうか。

#### Q3.CFP®認定者に求められる役割は何だと思えますか？

オーストラリアの多くの家庭において、CFP®認定者は最も信頼されるアドバイザーです。それでも、FP のサービスを利用するのは 5 人に 1 人で、この市場にはまだまだ成長の余地があります。CFP®認定者の役割は、生活者が、誰か専門家のアドバイスがほしい、という時に、頼れる人がいるという安心感を与えることだと思います。顧客の将来のプランニングを助けるだけでなく、病気、怪我、家族の死といった人生の局面において、しっかりとした支えになることが求められているのです。

#### Q4.日本の CFP®認定者へメッセージをお願いします。

CFP®資格取得を達成されたことを、心よりお祝い申し上げます。

ご自身が取得されたこの資格が、顧客と消費者においてどんなに素晴らしい意味を持つのかに誇りを持ってください。常に高いスタンダードを守り、どんな時も顧客を第一に優先することを忘れないでください。偉大な専門家は人々に仕え、その結果として高く評価されるのです。このことは、日本の、そして世界中の CFP®認定者に対し、私達が最も期待することなのです。